

保護者・地域・関係団体の皆様へ

ぐんまの子どもたちに豊かな学びを届けるために 学校における働き方改革への御理解、御協力をお願いします

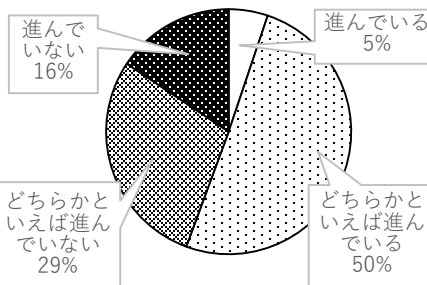


全国的に教職員の多忙化が問題視される中、県民の皆様への御理解・御協力により、群馬県の教職員の多忙化解消に向けた取組は着実に進んでいます。令和5年8月に実施した調査では働き方改革、業務改善が進んでいると考えている教職員が過半数を超えていることが分かり

ました。しかし、依然として長時間勤務を行っている教職員もおり、まだまだ課題が残されていることも分かっています。

学校における働き方改革の目的は、教職員がゆとりをもって児童生徒と向き合う時間を確保することで、子どもたちに豊かな学びを届けることにあります。教職員の多忙化解消には国や自治体、学校、保護者、地域、企業等が一丸となって対応することが必要とされており、保護者・地域・関係団体の皆様におかれましては、以下のような取組に御理解、御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

あなたの学校では働き方改革、業務改善が進んでいると思いますか。



令和5年8月実施 教職員の業務状況等調査
小・中・高・特支の職員1663名が回答

児童生徒と向き合う時間の確保に向け、学校では様々な取組を進めています

■ 学校行事の精選

学校では、式典・行事の目的や意義を踏まえて、時間短縮や内容の精選等を行っています。

■ PTA行事の精選

組織の在り方を含め、行事などの精選を行う学校が増えています。

■ 教材費等の 集金方法の変更

引き落としや納付書による支払い、キャッシュレス決済などの導入が検討され始めています。

■ 夜間の電話対応

勤務時間外（特に夜間）については留守番電話や自動応答の導入が進んでいます。

■ 作品募集への参加の精選

学校単位で出品する作品の精選やとりまとめの縮減を行っています。関係団体の皆様にはインターネットを利用するなど学校を介さない募集方法への見直しをぜひお願いいたします。

■ 休日の地域行事への 引率業務削減

地域行事に子どもたちが参加することの意義は大きいものですが、休日の場合、学校職員が参加できないこともあります。

■ 学校との連絡手段の デジタル化

アプリ等を活用した欠席連絡や学校からの配布物のデータ配信など、デジタル化が進んでいます。

■ 部活動の活動時間等や 校内部活動数の適正化

生徒や教職員にとって無理のない運営への転換が始まっています。

■ 部活動の地域連携 及び地域移行

※公立中学校等を主な対象

子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保や教員の働き方改革を目指しています。